

2018日置・城北地区との交流会

日置地区まちづくり協議会会長 城市 好春

過日(6月21日)、城北地区の皆さんを招きGGを中心とした交流会が実施されました。

和紙工房前グラウンド・ゴルフ場で日置地区40名、城北地区20名による恒例の交流試合が行われ、好天のなか和気あいあいながらも時には真剣にホールインワンを狙い、清々しい汗を流すことができました。皆さん本当に元気です。

その後、研修棟にて昼食をはさみながらの歓談、豪華な賞品を前にしての成績発表、そしてビンゴゲームと盛り上がり、久しぶりの交流を深めることができました。

色々な人と交わりながら、いくつになっても楽しい時を過ごす、これが実に味わい深くいつまでも元気の秘訣ではないでしょうか。

年を重ねるごとにどうしても引きこもりがちになりますが、城北地区という街中のエネルギーを少しでもいただいた事に感謝するとともに、引き続き来年以降も相互交流は継続しますので、多くの皆さんの参加をお願いする次第です。

最後に企画された公民館スタッフに感謝申し上げます。ありがとうございました。



日置のそば食堂

そばサークル会長 長谷川 一機

7月8日(日)の1日限り、そばサークル主催のそば食堂が日置地区公民館でオープンし、多くの人に日置産のそばを味わっていただきました。

いかにして皆に美味しいそばを食べてもらえるか・・・日置そば作りの特徴は、早牛の畑で種から育てて秋には刈取って、小畑で乾燥させて石を抜いて、公民館で実を挽いて粉にするという工程全てが日置で行われていることです。本当に美味しいそばを作ろうと思ったら、種蒔きから取りかからないと難しいのです。栽培して実が上手に出来たら5割方できたようなものです。

前日に実を挽いて粉にして、当日打って、来られたお客さんの顔を見てから湯がきます。サークルでは挽きたて・打ちたて・湯がきたてをモットーに、遅くとも3分以内に出すことを目安としています。こうすることで美味しいそばを食べてもらえます。

多くの人に喜んで食べてほしい、味を知ってもらってもっと広めたい、それと同時に、「美味しい」だけでなく物足りないと思ったところを教えてくださいと思っています。

また、日置には良い具合にべりいというお店が近くにあり、例えば土日のみ5食限定というような形でも、日置産の手打ちそばを味わってもらえるようになると良いなと思っています。

猛暑に負けず環境整備!

環境部会長 大西 良幸

去る7月15日(日)、納涼祭前の環境整備が行われました。連日、猛暑が続くなか、水分と休息をとりながらの作業となりました。

まちづくり協議会環境部会はもとより、各集落の公民館社会部・老人クラブ・評議員さん、その他多くの地区住民の皆さまのご協力のおかげで、すっかりさわやかな景色になりました。心からお礼申し上げます。

今回は、運動会前の9月23日(日)午前8時から予定されています。今年最終の環境整備になりますので、引き続きご協力いただきますようお願いします。



風で農業用資材などが飛ばされない対策を!

日置川のゴミの大半は、風で飛ばされた農業用資材(ビニール等)、発泡スチロール、プラスチック容器などです。

これらは、川の景観をそこねるだけではなく、海に流れ出て漂着したり、やがて細かく砕かれて沖合まで散らばっていきます。これを魚など海の生き物がエサと間違えて食べて体に取り込まれるため、海の生態系や人への影響が心配されています。

台風など大風が予想される時は、物が飛ばされないよう、いま一度、ご確認いただきますようご協力をお願いします。



減災のために訓練を

防災部会長 房安 光

防災部会では、9月23日(日)午前9時から「日置地区防災訓練」を実施します。昨年の防災訓練が台風のため中止となりましたので、昨年予定されていた内容での実施を計画しています。

内容は以下の予定です。

- ①県による土砂災害に関する出前講座(場所:地区体育館)
- ②火災通報・避難訓練(地区公民館を使用)
- ③消火栓からの放水訓練(第5分団の指導)

対象:山根自主防・自衛消防、河原自主防、日置地区公民館等
近年の日本は「災害大国」と言われるほど大きな災害が頻発しています。地震、津波、豪雨、豪雪、土砂災害、噴火、高温災害(熱中症)等々、毎年のごとく発生、枚挙に暇がありません。

「天災は忘れた頃にやって来る」とは寺田寅彦の言葉だと言われていますが、彼が今生きていたらこの現状を何と表現したでしょうか。

災害の発生を止める術を現状私たちは殆ど持ち得ておりません。

出来ることは、如何に被害を少しでも防ぐかであります。所謂「減災」という考え方です。普段からの対応、備えこそが「減災」の基本であり、訓練もその1つであります。練習していないことが本番で出来るということはほぼありません。訓練を少しずつでも積み重ねることによってのみ、災害時の

対応能力を強化することができます。

少子高齢化、人口減少はまだまだ続きます。自助、共助、公助の考え方を踏まえ、少しでも「減災」に資するよう訓練を積みましょう。

9月23日(日)の防災訓練に多数のご参加を頂きますようお願いいたします。



草刈のご協力ありがとうございました

特産品部会長 水砂 満則

7月28日(土)関係者の皆様には、暑い中早朝より、そば畑の草刈、こんにゃく芋畑の草取りをいただき、本当にありがとうございました。

また、そば畑の耕運(今回4回)を城市好春さん、田中康寿さん、伊藤博光さん、溝切りを小西正美さんにいただき大変お世話になりました。

畑の前を通ると景観が大変良くなり、こんにゃく芋の茎がはっきりと目につくようになり、美しく感じます。

9月頃には、そばの花が見えると思います。楽しみです。

最後に、草刈りの時に伊藤さんより取りたてのスイカをいただき、大変おいしくいただきました。

今年はコンニャク栽培と花の植付けに挑戦しました

今年は、特産品部会の新しい取り組みとして、コンニャク栽培に挑戦しました。5月16日(水)、少し暑い日でしたがまちづくり協議会のメンバーに交じって「わくわく青谷」事業で職場体験中の中学生2人も初めて見るコンニャク玉に戸惑いながらも一玉ずつ丁寧に植えこんでくれました。

また、6月16日(土)には、美化活動としてコンニャクと同じ田んぼの道沿いにマリーゴールドの植付けをしました。植付けには、まちづくり協議会のメンバーと一緒に日置の小学生も手伝ってくれました。早牛集落のバス停の上側に咲いています。通られたときにはぜひ観てってください。



合同ラジオ体操で さわやかな汗

福祉部会長 中宇地節雄

福祉部会は、健康寿命を延ばす取り組みに力を入れており、ラジオ体操の普及を進めているところです。連日の猛暑がつづく7月28日(土)の早朝には、各集落から小学生14人を含む65人が日置地区グラウンドに集まり、合同ラジオ体操を行いました。

当日は、棚田厚さん(山根)の指導で第1・第2体操を行い、さわやかな汗を流しました。

また、10月13日(土)の午前には、日置地区体育館を会場に、4回目となる健康づくり講座を開きます。今回は、鳥取生協病院医師の斎藤基さんを講師にお迎えすることになっています。

健康づくりには、日頃からの適度な運動と適切な食生活が大切です。自分の体力に合わせて体を動かし、住み慣れた日置地区でいつまでも元気に暮らしていきたいものです。



今後の予定

9/23(日) 8:00~
環境整備 日置地区公民館

9/23(日) 9:00~
防災訓練 日置体育館・日置地区公民館

10/13(土) 10:00~
健康づくり講座 日置体育館

11/11(日) 和紙フェスタ&ひおき収穫祭
あおや和紙工房前庭・日置体育館